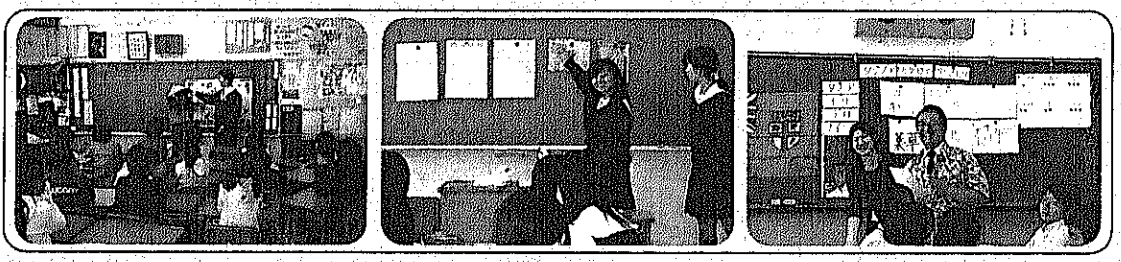
平成20年度　教師海外研修
授業実践報告書集

（パプアニューギニア・ベトナム・フィジー）



JICA LIBRARY
1208291 [3]

平成21年3月

独立行政法人　国際協力機構
広尾センター（JICA地球ひろば）

地球ひ
J　R

はじめに

国際協力機構（JICA）が実施している「教師海外研修」は、国際理解教育および開発教育に興味のある先生方が、開発途上国の置かれている現状や国際協力への理解を深め、その成果を、次代を担う生徒の教育に役立ててもらうことを目的としています。

今年度、「JICA 地球ひろば」の教師海外研修では1都6県（栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、新潟、山梨）から合計35名の先生方にご参加いただき、パプアニューギニア、ベトナム、フィジーの3カ国を訪問しました。

今回は、国内研修の回数を増やし、また参加者の学びを深めるために、海外研修には開発教育ファシリテーターが同行しました。さらに、海外研修の経験を授業に反映できるように、帰国後すぐに、教材づくりの研修を実施しました。

本書では、先生方が本研修を活かし、それぞれの学校や地域において実践された様々な取り組みを紹介します。

なお「JICA 地球ひろば」は、市民参加による国際協力の拠点として、多くの市民の方々にご活用いただいています。展示・相談スペース「体験ゾーン」では、世界の課題を知る展示やイベントを開催しています。教師海外研修をはじめ、学校への講師派遣やJICA 施設見学、先生方からの国際理解・開発教育に関するご相談も、「JICA 地球ひろば」で応対させていただいております。ぜひ「JICA 地球ひろば」にお越しください。

平成21年2月

独立行政法人 国際協力機構
広尾センター（JICA 地球ひろば）
所長　　草野　孝久

14522

KO

1208291 [3]

目　次

Ⅰ　教師海外研修の概要

平成20年度教師海外研修について

Ⅱ　授業実践報告書

【パプアニューギニアコース】　パプアニューギニア研修日程

群馬県　高　橋　博　紀　高崎市立金古南小学校　全教科
世界のお友だちについて知ろう　～わたしたちと同じところ・違うところ～
（学級活動・国語・音楽・道徳）…… 20

群馬県　本　多　チエ子　共愛学園高等学校　国語科
ともに生きる
（礼拝・国語総合・現代文）…… 26

群馬県　高　木　妙　子　高崎市立佐野中学校　国語科
ＰＮＧから日本を考える
（学活・道徳・総合的な学習の時間）…… 32

栃木県　佐　藤　由美子　日光市立所野小学校　全教科
幸せってなあに
（所野小タイム（全校朝礼））…… 38

栃木県　合　田　理　映　栃木県立学悠館高等学校　音楽科
世界のためにできること
（ホームルーム活動）…… 44

栃木県　西　田　和　昭　那須塩原市立高林中学校　社会科
今後の生き方を考えよう
（社会・学級活動）…… 48

栃木県　田　中　　智　那須町立田中小学校　全教科
自分の生活や生き方を見直してみよう
（総合的な学習の時間）…… 54

栃木県　田　中　明　美　那須塩原市立寺子小学校　全教科
世界の子どもたちと交流しよう
（特別活動）…… 60

新潟県　小　池　尚　子　見附市立見附第二小学校　全教科
「幸せ」って何？　～世界にはいろんな「幸せ」がある～
（総合的な学習の時間）…… 66

新潟県　髙　橋　雅　彦　十日町市立十日町小学校　全教科
パプアニューギニアから日本と世界の関係を考える
（総合的な学習の時間・道徳）…… 70

新潟県　神　田　多恵子　新潟市立亀田東小学校　全教科
パプアの人たちの『笑顔』が教えてくれた『幸福』
（総合的な学習の時間・国語・社会・音楽・道徳・学活）
…… 76

新潟県　松　原　由　佳　長岡市立旭岡中学校　英語科
知りたいパプアニューギニア！伝えたい日本！！
（英語）…… 82

目　次

【ベトナムコース】 ベトナム研修日程

埼玉県　安　達　一　樹　久喜市立久喜中学校　英語科
世界十人十色　～ベトナムから自分を見つめる～
（総合的な学習の時間） …… 90

埼玉県　是　沢　哲　生　狭山市立堀兼中学校　理科
ベトナムの現状と理解を通して、これからの援助のあり方を考える
～青年海外協力隊の活躍から世界を考える～
（総合的な学習の時間、道徳） …… 96

埼玉県　村　山　英　美　さいたま市立土合中学校　英語科
国際交流って、楽しい！
（英語・道徳・学級活動・総合的な学習の時間）
…… 102

埼玉県　関　口　浩　子　川島町立中山小学校　全教科
みんな同じ地球人
（総合的な学習の時間） …… 108

埼玉県　奥　山　博　徳　さいたま市立大谷口小学校　全教科
世界に飛び出す第一歩　～ベトナムってどんな国？～
（総合的な学習の時間） …… 114

千葉県　廣　嶋　伸　道　芝浦工業大学柏中学高等学校　社会科
ベトナムの成長と課題から国際協力の重要性を考える
（地理） …… 120

千葉県　吉　永　浩　嗣　茂原市立東中学校　理科
世界に目を向けてみよう
（道徳） …… 126

千葉県　秋　元　政　康　成田市立遠山中学校　英語科
世界とつながりをもつ日本人
（英語・道徳・総合的な学習の時間） …… 132

千葉県　千　葉　　大　佐倉市立印南小学校　全教科
ベトナムを知り、日本と日本人を見直す
（総合的な学習の時間・学級活動・学校行事） … 138

千葉県　竹　原　亜　弓　松戸市立旭町小学校　全教科
共に生きる・・Think global　Act local
（総合的な学習の時間） …… 144

山梨県　望　月　敦　子　中央市立田富北小学校　全教科
日本とベトナムのつながり
（特別活動） …… 150

【フィジーコース】 フィジー研修日程

東京都　山　田　勝　之　足立区立第四中学校　　社会科
「国際協力を日本の文化に」を考える「フィジーについて探求しよう！」
（総合的な学習の時間・選択社会科）…… 160

東京都　楢　府　暢　子　東京大学教育学部附属中等教育学校　　家庭科
環境問題から考える国際協力　（総合的な学習）…… 166

東京都　鈴　木　宏　明　私立成蹊小学校　　国語科・社会科
フィジーを通して世界を知ろう　（社会科）…… 172

東京都　岡　本　有　未　私立明星学園中学校　　オーラルコミュニケーション
フィジーから知る『世界』　（オーラルコミュニケーション）…… 178

東京都　藤　村　由　夏　東京都立国際高等学校　　英語科
～英語を通して考える～　フィジーの環境問題と私たち
（英語）…… 184

東京都　寺　田　礼　子　板橋区立桜川中学校　　英語科
世界に目を向け、自分たちにできる国際協力を考える
（英語・総合的な学習の時間）…… 190

東京都　朽　木　裕　子　八王子市立別所小学校　　全教科
フィジーを知ろう！日本を知ろう！　（総合的な学習の時間）…… 196

東京都　羽　生　英　雄　東京都立清瀬高等学校　　世界史
青年海外協力隊員に聞こう　（東京都設定教科「奉仕」）…… 202

東京都　牧　　孝　信　葛飾区立飯塚小学校　　全教科
フィジっちゃお！　（総合的な学習の時間）…… 206

東京都　坂　井　ゆりか　葛飾区立小松南小学校　　全教科
世界を知ろう！はじめの一歩　～フィジーから世界に目を向けよう～
（総合的な学習の時間）…… 212

東京都　冨　田　好　恵　トキワ松学園中学校高等学校　英語科
南国の楽園とも呼ばれる“フィジー”の魅力を知ろう♪
そしてフィジーに潜む問題に迫り、日本人の活躍を垣間見よう！
（道徳・ホームルーム）…… 218

東京都　辻　山　登紀子　日野市立三沢中学校　　数学科
知ることから始めよう、世界を　（総合的な学習の時間）…… 224

Ⅰ 教師海外研修の概要

JICA地球ひろば
教師海外研修

1. 本研修の目的

開発教育に取り組んでいる小学校・中学校・高等学校等の教員が、開発途上国での研修を通じ、途上国の置かれている現状と日本との関係への理解を深め、その成果を次代を担う生徒の教育に役立てていただくことをねらいとします。また、研修参加後、JICA 地球ひろばと協力し、地域や教育現場で国際理解教育および開発教育を推進する中核となって、実際に活躍していただくこともねらいとしています。

2. 応募資格

小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校（1～3年生を担当)、特別支援学校および教育委員会において教育活動に従事している 50 歳以下の方。

平成 20 年度は、JICA 地球ひろばの所管地域内の都県（栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、山梨県）の教育機関に属する 35 名が参加しました。

3. 募集時期

募集時期：毎年 4 月～5 月初旬

4. 海外研修訪問国　（平成 20 年度）

パプアニューギニア	：	栃木県、群馬県、新潟県
ベトナム	：	埼玉県、千葉県、山梨県
フィジー	：	東京都

5. 研修年間スケジュール

■派　遣　前

第 1 次派遣前研修	6 月（1 泊 2 日）
都県別派遣前研修	6 月
第 2 次派遣前研修	海外研修出発前日

■海　外　研　修　　夏休み　10 日間

■帰　国　後

帰国時研修	8 月下旬～9 月
授業実践報告会	1 月～2 月
全体報告会	3 月

報告書提出

①海外研修報告書　8 月末
②授業実践報告書　1 月
（JICA 地球ひろば HP 公開）

平成20年度　JICA地球ひろば　教師海外研修の流れ

第1次派遣前研修　6月14・15日　場所：JICA地球ひろば

【内容】

i　本研修の目的等の説明
ii　JICA事業紹介
iii　自己紹介・アイスブレーキング
iv　国際理解教育についての講演
v　開発教育参加型ワークショップ
vi　海外研修出発までの流れ
vii　帰国後の活動及び提出物（報告書）について
viii　前年度教師海外研修参加者による実践報告
ix　コース別打ち合わせ（海外研修日程、現地語基礎講座等）
x　渡航手続き及び渡航上の諸注意

都県別派遣前研修

6月28日	栃木県	会場：とちぎ国際交流センター
6月28日	群馬県	会場：(財)群馬県観光国際協会
6月28日	埼玉県	会場：さいたま市桜木公民館
6月29日	千葉県	会場：(財)ちば国際コンベンションビューロー
6月29日	東京都	会場：JICA地球ひろば
6月28日	新潟県	会場：(財)新潟県国際交流協会
6月28日	山梨県	会場：山梨県立国際交流センター

第2次派遣前研修　7月30日　場所：JICA地球ひろば

【内容】

i　安全対策・健康管理
ii　事前授業実践報告書を基にした海外研修に向けての準備
iii　コース別最終合わせ

海外研修　7月31日～8月9日（現地滞在約9泊10日）

i　研修国の文化、生活、社会事情の視察
ii　JICA事業の視察及び専門家、青年海外協力隊員との交流
iii　NGO活動現場の視察
iv　教育・学校関係者との交流
v　一般家庭の訪問
vi　国際理解教育素材収集（現地の生活雑貨、学用品等）

帰国後の活動　８月～３月

①報告書作成（海外研修報告書・授業実践報告書）

②帰国時研修

8月23日	栃木県	会場：とちぎ国際交流センター
8月22日	群馬県	会場：群馬県庁昭和庁舎
8月19日	埼玉県	会場：北浦和合同庁舎
8月24日	千葉県	会場：(財)ちば国際コンベンションビューロー
8月24日	東京都	会場：JICA 地球ひろば
9月7日	新潟県	会場：(財)新潟県国際交流協会
8月31日	山梨県	会場：山梨県立国際交流センター

③授業実践報告会

11月15日	栃木県	平成20年度第2回国際理解教育研修会 会場：とちぎ国際交流センター
12月8日	栃木県	栃木県高等学校教育研究会国際理解教育部会研究大会 会場：栃木県総合教育センター
2月21日	栃木県	平成20年度国際理解教育実践セミナー　第2回 「パパは牛乳屋？！ではじまった国際理解」 ～JICA 教師海外研修授業実践報告～ &「アフリカの問題をやさしく伝える方法」 会場：とちぎ国際交流センター
2月8日	群馬県	パプアニューギニア？パパは牛乳屋？！から始まった国際理解 ～JICA 教師海外研修参加者による授業実践報告会～ 会場：群馬県庁昭和庁舎
2月8日	埼玉県	開発教育セミナー'09　～様々な場で「開発教育」を実践するために～ 会場：北浦和カルタスホール
2月7日	千葉県	国際理解促進講座 会場：京葉銀行文化プラザ
2月8日	東京都	みんなでつくる！国際理解／開発教育実践バイキング 会場：JICA 地球ひろば
1月31日	新潟県	国際理解教育・開発教育セミナー「世界のことを伝えよう」 会場：(財)新潟県国際交流協会
1月24日	山梨県	青年海外協力隊＆教師海外研修活動報告会 会場：山梨県立国際交流センター

全体報告会　３月８日　場所：JICA 地球ひろば

【内容】

i　教師海外研修の参加報告会

ii　各地域における開発教育／国際理解教育の今後の取り組みについての意見交換

Ⅱ 授業実践報告書

Papua New Guinea

【パプアニューギニア コース】

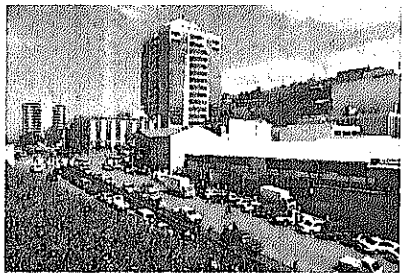
平成 20 年度教師海外研修　パプアニューギニア海外研修日程

テーマ：エンパワーメントってなんだろう？

月日	時間	日程	備考	宿泊
7月31日 Thu.	9：00	成田集合		
	11:15	✈成田発（JL719）⇒シンガポール着（17：15）	移動	
	20:55	✈シンガポール発（PX393）⇒		機内
8月1日 Fri.	5:25	✈ポートモレスビー着		
	6:00	ボランティアドミトリーにて休憩		
	10:00	表敬訪問】JICA 事務所 【ブリーフィング】安全・健康管理・事業について	・滞在の注意事項、JICA　PNG の事業概要	
	11:00	【表敬訪問】日本大使館表敬	・西山大使表敬	
	14:00	【技術協力プロジェクト】小規模稲作プロジェクト	・食糧自給改善支援（概要） ・中山専門家／農業畜産省	(Hotel) ポートモレスビー ゲートウェイホテル
8月2日 Sat.	AM	✈ポートモレスビー(8:50 発)⇒ココポ(10:15 着) PX272		(Hotel) ラバウル ラバウルホテル
	PM	【青年海外協力隊】ノンガ総合病院、理学療法士	関口隊員＊休日のため活動視察はなし	
8月3日 Sun.	AM	【戦跡視察】ラバウル第２次世界大戦戦跡視察		
	PM	【NGO活動／施設視察】オイスカ訪問（活動説明・施設視察）	・地域に根ざした農業研修	
	16:00	✎施設：振り返りミーティング	・体験の共有等	Oisca International オイスカ泊
8月4日 Mon.	AM	【意見交換】オイスカにてグループディスカッション	・異文化交流	
	PM	ココポ周辺ビレッジ訪問、マーケット	・地方住民生活事情	(Hotel) ココポ ココポビレッジリゾート
	17:00	ホテルチェックイン		
8月5日 Tue.	AM	✈ココポ（7：05 発）⇒ポートモレスビー（8：25 着）PX275（10：00）⇒マダン（11：00 着）PX313 →ホテル		
	PM	【技術協力プロジェクト】農業畜産省マダン支部 小規模稲作プロジェクト	・食糧自給改善支援（現場）	
	17:00	✎【振り返りミーティング】於ホテル	・体験の共有等	(Hotel) マダン ジャイスアーベン
8月6日 Wed.	AM	【学校視察】「グッドシェパード高校」交流授業	・教育現場視察・教員との交流 ・富田隊員／理数科教師	
	PM	【学校視察】「バイタバグ小学校」交流授業	・教育現場視察・教員、生徒との交流 ・青木隊員／理数科教師	(Hotel) マダン ジャイスアーベン
8月7日 Thu.	AM	【青年海外協力隊】 マダン州政府コミュニティ開発局、村落開発普及員	・地方貧困削減：コミュニティ開発 ・梨本篤司隊員	
	14:00	✈マダン（15：45 発）⇒ポートモレスビー（16：45 着）PX111 →ホテル		(Hotel) ポートモレスビー ゲートウェイホテル
8月8日 Fri.	8:30	【シニア海外ボランティア】PNG 教育研究所	・松田 SV／視聴覚教育	
	10:00	【技術協力／施設視察】PNG メディアセンター 「テレビ番組による授業改善計画プロジェクト」	・遠隔地教育支援	
	13:30	✎【振り返りミーティング】ホテルもしくは JICA 事務所	【振り返りミーティング（総括）】・体験の共有等	
	16:30	【報告会】JICA 事務所にて	1 時間（質疑応答含む）	(Hotel) ポートモレスビー ゲートウェイホテル
	18:00	【懇親会】JICA 関係者との懇談	・JICA スタッフとの懇談	
8月9日 Sat.	8:00	【教材収集】ポートモレスビー市内視察	・教材入手	
	14:15	✈ポートモレスビー発（PX054）⇒	移動	
	19:55	成田着		

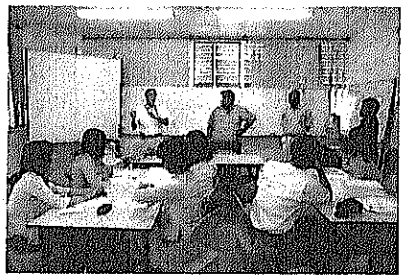
エンパワーメントってなんだ？

首都ポートモレスビーは丘陵にあり、美しい太平洋が臨めます



JICA 事務所から見た首都ポートモレスビーのメインストリート

ホテルのフロントの人がボールペンを頭に挿していて、参加者は驚き。

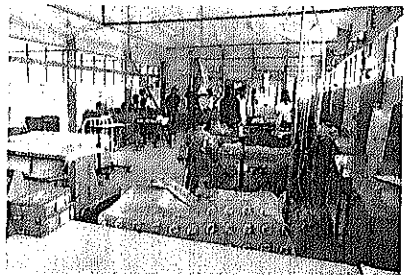


農業畜産省でのブリーフィング

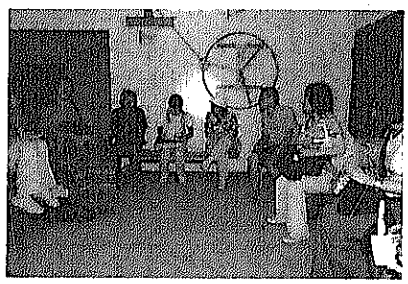
マダン：急な斜面に陸稲を植える。その説明を聞く参加者。

国内の移動は全て飛行機。街を結ぶ道路はほとんどありません。

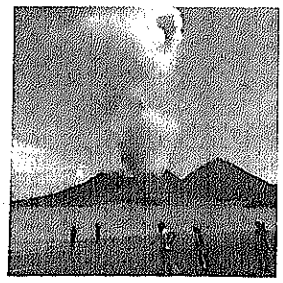
ココポの市場。お母さんが持っているのはシェルマネー（貝のお金）。



ラバウル：青年海外協力隊員の活動するノンガ病院の病室を見学。



青年海外協力隊員たちにインタビュー。



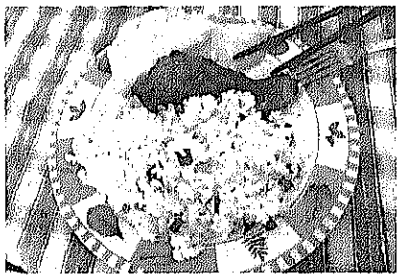
ラバウルの噴火中の火山。火山灰も降ってくる。

ラバウルの戦跡。墜落した飛行機は地元の人たちの手入れによって火山灰に埋もれず残されている。

鮮やかな制服を着た女子生徒たち。

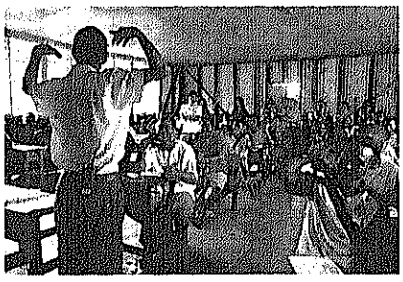
ココポ：NGOオイスカ活動地。日本と変わらない風景が広がる。

オイスカの研修生たちとグループに分かれディスカッション。



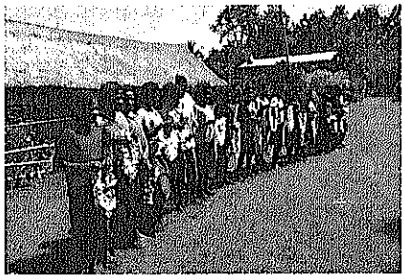
オイスカでいただいた昼食。すべてここで自給しています。

マダン：ホテルのフロントを抜けると、眼前にはきれいな海が！

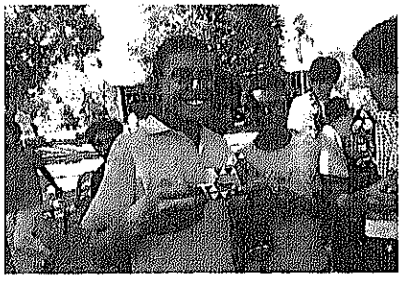


グッドシェパード高校。青年海外協力隊員のアイスブレイキングは、日本でも応用できそう！？

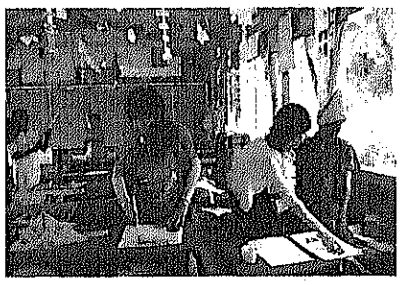
授業風景を見学しつつ、指導もしている。さすが先生！



バイタバク小学校に到着すると、突然のレイの歓迎に一同感激！

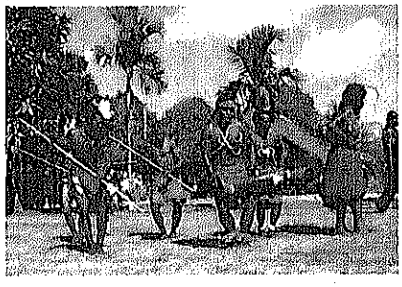


日本のおもちゃで遊ぶ子ども

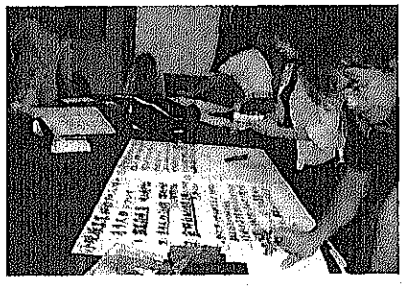


初めての書道に挑戦

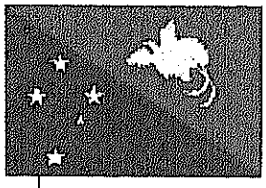
遠隔教育プログラムを行っているPNGメディアセンター訪問。



伝統的ダンス、シンシンで歓迎してくれたマルマル村の人々。



最終日、研修成果をまとめて、日本大使館で報告会を行った。



世界のお友だちについて知ろう
～わたしたちと同じところ・違うところ～

Papua New Guinea

高橋 博紀
群馬県高崎市立金古南小学校

●担当教科：全教科
●実践教科：学級活動、国語、音楽、道徳
●時 間 数：7時間＋全校朝礼（15分）
●対象生徒：小学校2年生
●対象人数：23名（2年生3クラス：70名、全校：469名）

〔1〕授業実践のテーマ・目的

パプアニューギニアのお友だちについて知ろう　～わたしたちと同じところ・違うところ～

・パプアニューギニアの自然や文化について知り、興味関心を持つ。
・パプアニューギニアの子どもたちの生活と自分たちの生活を比較し、共通点や相違点を考える。
・世界にはたくさんの国があり、様々な人々が生活していることを知る中で、色々な国々の文化に興味関心を持つ。
・日本の文化について改めて考え、世界と自分たちの生活を比較し、それぞれの文化の良さや互いを認め合うことの大切さについて考える。

〔2〕授業の構成

<教科名：学級活動、国語、音楽、道徳>

①時限 ②テーマ ③ねらい	方法・内容	使用教材
①1時間目（学級活動） ②パプアニューギニアの子どもたちとお友だちになろう。 ③パプアニューギニアのお友だちに、日本のどんなことを紹介したいか話合う。	①世界地図を見ながら、パプアニューギニアの位置と気候の説明を聞く。 ②日本の自然や文化（気候・食べ物・スポーツ・お祭り・昔遊び・歌・楽器など）について意見を出し合い、パプアニューギニアのお友だちに紹介したいことを考える。 ③パプアニューギニアのお友だちに紹介するために、児童が大好きな「ビリーブ」と「たんぽぽ」の歌を歌っている動画を撮影する。	・世界地図 ・ワークシート ・デジタルカメラ ・三脚
<児童・生徒の反応>	社会科の授業がないので、世界地図を見ることも少なく、パプアニューギニアについての知識は全くない児童がほとんどであった。アメリカや中国と違い、国名すら聞いたことのない未知の国に担任が行くということで、児童はとても興味深く授業に取り組んでいた。 （児童の感想より） ○日本には冬があって、寒い日があるんだよ。雪も降るよ。 ○日本には富士山っていう高い山があるよ。パプアニューギニアにも高い山がありますか？ ○和太鼓や習字を紹介したい。	
①2時間目（国語） ②たからものを知らせ合おう。 ③国際交流の第一歩として、自分たちとパプアニューギニアのお友だちの将来の夢や一番大切な物などを比較することを理解する。	①国語の教科書「たからものを知らせ合おう」で学習した内容を復習し、自分の宝物について考える。 ②アンケートに答える。 将来の夢・幸せを感じる時・今一番欲しい物・一番大切な物・神様に1つだけかなえてもらえるお願い ③パプアニューギニアのお友だちに、どんなことを質問したいか話し合う。 ④自分の宝物の絵を描く。	・国語の教科書 ・アンケート用紙 ・画用紙（はがきサイズ）

①時限 ②テーマ ③ねらい	方法・内容	使用教材
<児童・生徒の反応>	児童は、パプアニューギニアの小学生の将来の夢や一番大切な物が何なのか、とても興味がある様子だった。児童の将来の夢で多かったものは、「スポーツ選手・パティシエ・バレリーナ」であった。一番大切な物は、「家族・自分の命・お金」であった。 パプアニューギニアの小学生への質問もたくさん出てきた。 ○学校は楽しいですか？　○どんな勉強をしていますか？ ○先生と生徒は何人ですか？　○漢字は習いますか？ ○どんな遊びがありますか？　○有名な食べ物は何ですか？ ○家族をどう思いますか？　○どんなスポーツをしますか？ ○海にはどんな魚がいますか？　○絵の具はありますか？ ○ゲームを持っていますか？　○クワガタを知っていますか？	
①3時間目（学級活動） ②パプアニューギニアってどんな国？ ③パプアニューギニアの人々の暮らしや文化を知り、興味関心を持つ。	①世界地図とパプアニューギニアの地図を見ながら、担任が訪れたパプアニューギニアの場所の説明を聞く。 ②写真を見ながら、パプアニューギニアの自然や文化の説明を聞く。 ③伝統ダンスのシンシンの動画を見る。	・世界地図 ・パプアニューギニアの地図 ・写真・動画（パワーポイント） ・PC ・プロジェクター ・スクリーン
<児童・生徒の反応>	パワーポイントを使いながら説明すると、児童はスクリーンに見入っていた。きれいな海に囲まれた国、日本とは違うフルーツ、伝統的な衣装とダンス、学校の様子など、２年生の児童にとってわかりやすい題材を選び、写真の枚数も多くなりすぎないように工夫して紹介した。児童からは、「すごい！きれいな国だなぁ。」「行ってみたいなぁ。」「シンシンはどんな時に踊るのかな？」など、様々な感想や疑問が出てきた。	
①4時間目（学級活動） ②モノランゲージ。 ③パプアニューギニアの人々の暮らしや文化を知り、興味関心を持つ。	①担任がパプアニューギニアで購入してきた品物を用いて、それは何か、どんな時に使う物かをクイズ形式でグループごとに回答する。 ②品物を直接触ってみることで、異文化体験をする。	・シェルマネー ・コテカ ・ラプラプ（布） ・楽器（２種類） ・ブッシュナイフ（写真） ・ホワイトボード
<児童・生徒の反応>	写真や動画ではなく、本時は児童が直接手に取ることができる品物を用意したので、児童の表情には驚きと感動が溢れていた。特にシェルマネーについては、「なんで貝殻がお金になるの？」「いつ使うの？」という反応が多かった。 また、３～４人グループでクイズ形式の授業を行ったので、児童は互いに意見を交換しながら協力して答えを考えていた。	
①5時間目 （2年生3クラス合同） ②外国のお友だちと仲良くなろう。 ③パプアニューギニアの子どもたちの暮らしや学校の様子を知り、自分たちと同じところ・違うところを発表し合う。	①世界地図とパプアニューギニアの地図を見ながら、担任が訪れたパプアニューギニアの場所の説明を聞く。 ②写真を見ながら、パプアニューギニアの自然や文化の説明を聞く。 ③フォトランゲージで、パプアニューギニアの学校の様子について知る。 ④アンケート結果（一番大切な物）を比較し、学校で毎日勉強できることは幸せで大切であることに気づく。	・世界地図 ・パプアニューギニアの地図 ・写真（パワーポイント） ・PC ・プロジェクター ・スクリーン ・ワークシート
<児童・生徒の反応>	フォトランゲージでは、パプアニューギニアの学校の教室の写真を用いた。天井や壁に穴が開いていたり、机や椅子が古かったりし、自分たちの教室との大きな違いに衝撃を受けていた。しかし、アンケート結果からパプアニューギニアの小学生は学校での勉強が一番大切であると考えていることがわかると、自分たちが恵まれた環境で学習できていることに気づいた児童も多かった。 （児童の感想より） ○学校の大切さがよくわかりました。 ○金古南小と違って古い教室でも、しっかり勉強していてえらいと思いました。 ○自分たちも学校を大切に使いたいです。	

①時限 ②テーマ ③ねらい	方法・内容	使用教材
①6時間目（音楽） ②うたでともだちのわをひろげよう。 ③ピジン語で歌を歌い、外国語の音楽に親しみ、興味関心を持つ。	①音楽の教科書「うたでともだちのわをひろげよう」を復習し、いろいろな国の言葉で歌を歌った楽しさを想起する。 ②パプアニューギニアの小学校4年生が国歌を歌っている動画を見る。 ③ NGO オイスカ・インターナショナルの生徒たちが「Yumi hamamas　ユミ　ハママス　（わたしたちは　幸せ）」という歌を歌っている動画に合わせて、手拍子をつけてピジン語で一緒に歌う。	・音楽の教科書 ・動画（パワーポイント） ・PC ・プロジェクター ・スクリーン ・歌詞カード ・ワークシート
<児童・生徒の反応>	前時までの授業で、児童はいろいろな国の音楽や歌に興味を持っていたので、本時の学習も楽しそうに取り組んでいた。最初はピジン語が難しい様子であったが、繰り返しが多いので、歌詞カードを見ながらすぐに歌えるようになった児童もいた。次第に手拍子もつけて、動画に合わせて元気良く歌うことができるようになった。日本では聞き慣れないリズムや楽器の音を楽しんでいた。 （児童の感想より） ○最初は難しかったけど、だんだん歌詞を見ないで歌えるようになりました。 ○歌の意味も幸せなんだという気持ちがわかり、すぐに覚えてしまいました。 ○聞いていると元気がでるような歌で、私はこの歌が大好きになりました。うれしかったです。	
①全校朝礼（15分） ②パプアニューギニアってどんな国？ ③パプアニューギニアの人々の暮らしや文化を知り、興味関心を持つ。	①担任が着ている国旗のデザインのポロシャツとラプラプ（腰巻）を見ながら説明を聞き、パプアニューギニアの国旗と人々の服装について理解する。 ②世界地図とパプアニューギニアの地図を見ながら、担任が訪れたパプアニューギニアの場所の説明を聞く。 ③写真を見ながら、パプアニューギニアの自然や文化の説明を聞く。 ④伝統ダンスのシンシンの動画を見る。 ⑤アンケート結果（一番大切な物）を比較し、学校で毎日勉強できることは幸せで大切であることに気づく。	・国旗のデザインのポロシャツ ・ラプラプ ・写真・動画（パワーポイント） ・PC ・プロジェクター ・スクリーン
<児童・生徒の反応>	2年生以外の児童には初めてのパプアニューギニアなので、冒頭の国旗とラプラプの話から興味津々だった。きれいな海やたくさんのフルーツには、驚きの反応があった。また、伝統ダンスのシンシンの動画は、衣装・ダンス・リズム全てが強い印象として残ったようである。 アンケート結果の比較では、パプアニューギニアの小学生の一番大切な物上位5位が全て学校に関係するものであったので、大変驚いていた。感嘆の声も多く聞こえてきた。	
①7時間目（道徳） ②上手に使う。 ③物を最後まで大切に使おうとする心情を育てる。	①自分たちの生活の中で、捨てることなく大切に使っているものについて発表し合う。 ②道徳の教科書「おばあちゃんのお手玉」を読み、物を大切に使ううえでの心構えについて意見を発表し合う。 ③担任がパプアニューギニアで購入したビルム（小麦粉の入っていた袋を再利用したバッグ）とそれを使っている現地の人々の写真を見せ、物資に恵まれ過ぎている自分たちの生活を見直す。	・道徳の教科書 ・ビルム（〔6〕写真参照） ・写真（A4の大きさ）3枚 ・ワークシート
<児童・生徒の反応>	小学校2年生では、日頃は環境保全への意識はそれほど高くはないが、物資に恵まれている自分たちの生活について考えることができたと思う。とても真剣に授業を受けていた。 （児童の感想より） ○パプアニューギニアの人たちのように、工夫して物を大切に使いたいです。 ○パプアニューギニアの人たちは、物を最後まで大切に使っていてすごいと思いました。 ○学校を大切に使いたいと思いました。	

〔3〕詳細説明

2時間目

担任がパプアニューギニアに行く前に、本校２年生３クラス（70名）と５年生２クラス（76名）にアンケートを行い、①将来の夢　②幸せを感じる時　③今一番欲しい物　④一番大切な物　⑤神様に１つだけかなえてもらえるお願い　の５つの質問に答えてもらった。このアンケートと同様の質問にパプアニューギニアのパイタバク小学校の４年生にも答えてもらい、その結果を比較してその後の授業（５時間目と全校朝礼）に活用した。

一番大切なもの

	金古南の2・5年生	パプアニューギニアのお友だち
1	家ぞく	学校（べん強）
2	自分のいのち	読書
3	お金	かばん
4	ゲーム	体いくぎ
5	友だち	ボールペン

6時間目

「Yumi hamamas　ユミ　ハママス　（わたしたちは　幸せ）」とは、NGOオイスカ・インターナショナルの生徒たちが、私たち教師海外研修の一団を歓迎するために歌ってくれた歌である。繰り返しが多く、手拍子をしながら歌うテンポの良い曲で、歌詞も素敵なので、２年生でも歌おうと判断した。児童は外国語で歌を歌うことに喜びを感じている様子で、とても楽しそうだった。

Yumi hamamas ユミ　ハママス　（わたしたちは　しあわせ）

Yumi hamamas（２回くりかえす）
Yumi hamamas tru long makim dispela dei
Mipela laik tok welcome welcome（２回くりかえす）
Mipela laik tok welcome welcome i go long yupela

ユミ　ハママス　（２回くりかえす）
ユミ　ハママス　トゥル　ロング　マキム　ディスペラディ
ミペラ　ライク　トック　ウェルカム　ウェルカム　（２回くりかえす）
ミペラ　ライク　トック　ウェルカム　ウェルカム　イゴロング　ユペラ

歌のいみ

わたしたちは　しあわせ
今日という日に　出会うことができて　わたしたちは　ほんとうに　しあわせ
わたしたちは　ようこそ　ようこそ　と言いたい
あなたたちに　ようこそ　ようこそ　と言いたい

（児童に配布したワークシート）

〔4〕成果と課題

パワーポイントで写真や動画を一斉に見せながら説明したり、実際に児童が手に取って触れる物を用意したり、様々な授業形態を工夫できたことは良かったと思う。さらに、パプアニューギニアを題材として学級活動・国語・音楽・道徳と幅広い教科で授業実践ができたことは、私自身にとっても児童にとっても貴重な経験となったと考える。時間は短かったが、担任する学級だけではなく全校児童と本校職員に本研修で学んだことを還元できたことは、少なからず今後の国際理解教育の糧となると信じている。

授業実践を通して、国名も聞いたことがなかったパプアニューギニアという国に対する児童の興味関心は高まり、それと付随して東南アジア諸国等、日本周辺の国々に対するアンテナも敏感になったと思われる。テレビで「パプアニューギニア」という言葉を耳にしたり、図鑑や動物園で生息地域がパプアニューギニアの昆虫や動物を目にしたりすると大喜びで自ら調べ出す児童の姿も見られるようになった。

５つの質問のアンケートの比較も、大変効果的であった。ただ単に統計的に日本とパプアニューギニアを比較するのではなく、自分たちの答えと実際に担任が訪れた小学生の答えの比較なので、親近感を抱きながら共通点と相違点について理解を深めることができたようである。

課題としては、パプアニューギニアのような発展途上国の現状を知って、「嫌だ。」「かわいそう。」「自分は日本で良かった。」という感想を持った児童もいたことである。これらの感想は、私が意図しているものではない。日本（自分たちの現状）との比較を通して、相違している点があっても、その違いを互いに認め合うことが大切であるということを今後の授業でも引き続き働きかけていきたいと考える。

私自身も今回の研修で学んだことを活かし、楽しく・わかりやすく・効果的な国際理解教育を行うことができるように、これからも研鑽を積んでいく所存である。

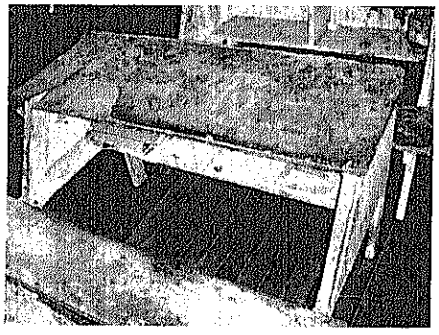
〔5〕参考文献（引用文献・参考資料）

・『はじめてのピジン語』 岡村　徹、三修社、2005

・『世界がもし 100 人の村だったら』 池田　香代子、C・ダグラス・ラミス対訳、マガジンハウス、2001

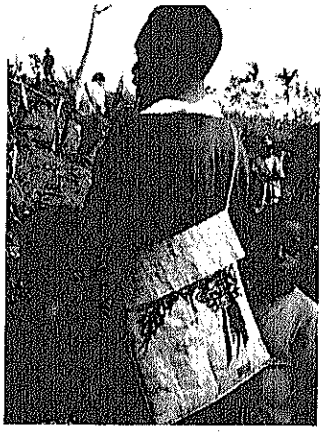
〔6〕使用教材（授業で使用したワークシートなど）

①授業で使用した写真



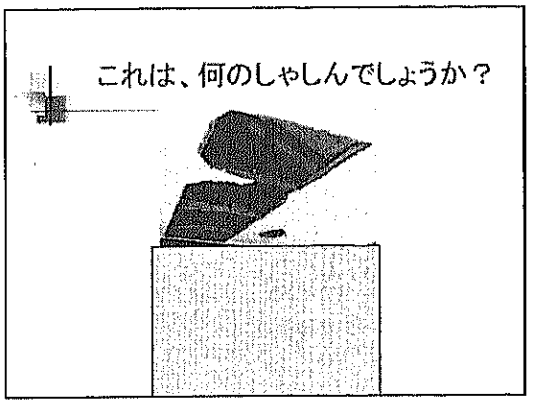
【写真①　教室の机】

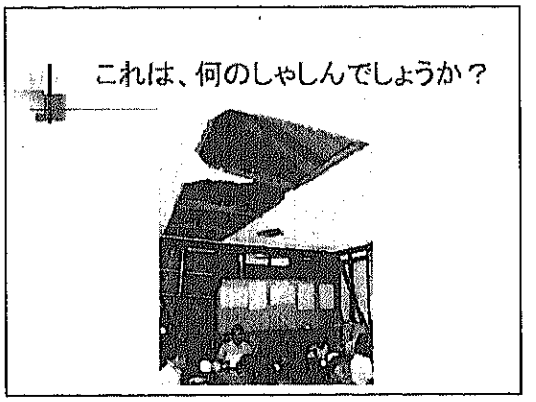
【写真②　教室の壁】



【写真③　ビルム】

②フォトランゲージ

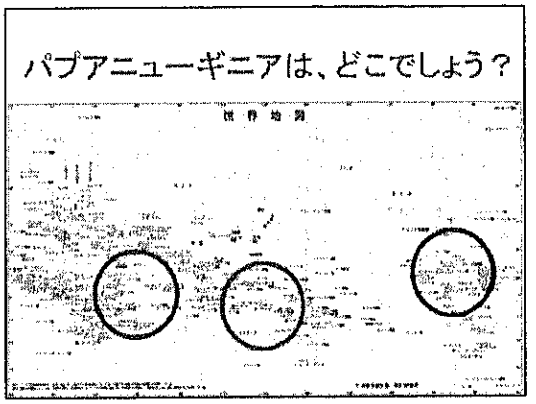


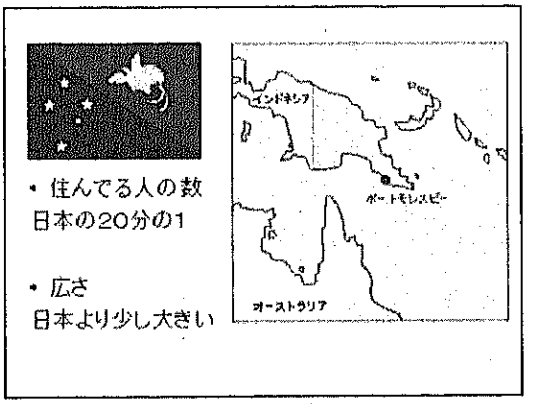


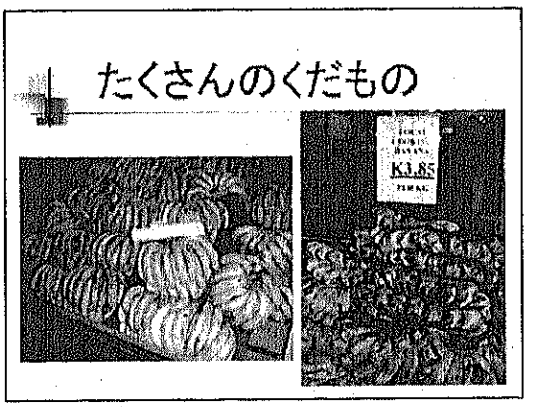
Ｑ． これはある建物の写真です。
何に使っている建物でしょう？

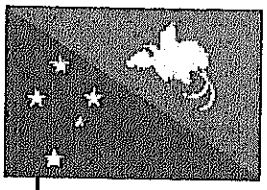
Ａ． 教室の写真です。
天井に穴が開いてしまっています。

③パワーポイント教材の一部









ともに生きる

Papua New Guinea

本多 チエ子
群馬県共愛学園高等学校

●担当教科：国　語
●実践教科：礼拝・国語総合・現代文
●時 間 数：15分・12時間～17時間
●対象生徒：英進1·2年生・全校生徒
●対象人数：1年（98名）2年（84名）全校生（970名）

〔1〕授業実践のテーマ・目的

【ともに生きる】

礼拝：「隣人」をキーワードに、パプアニューギニアを紹介し「隣人とは誰か」との問いを考える

国語総合・現代文：①パプアニューギニアの人々の暮らしや考えを通して、私たちとの共通点を考え、開発途上国の人々への理解を深める。
②先進国の私たちが開発途上国の人々にできることは何かを考える。
③抽象的な概念を自分自身の身近な問題として引き寄せて考える。
④現代人が自己を見失うことなく生きていくためにはどうしたらよいかを考える。

〔2〕授業の構成

<教科名：現代文（2年生）>

①時限 ②テーマ ③ねらい	方法・内容	使用教材
①1時限 ②パプアニューギニアを知る ③開発途上国の人々の暮らしを知る	①パプアニューギニアクイズを行う ②パワーポイントによるパプアニューギニア紹介を見ながら、クイズの答えを確かめる	・パプアニューギニアで収集したもの ・パプアニューギニアクイズシート（添付1）
①2時限 ②パプアニューギニアの人々と私たち ③パプアニューギニアの人々と私たちは何を求め、何を祈るのかを知ることから、共通することを見つける	①パワーポイントにより事前にとったアンケートの結果を紹介 ②一部分が空欄になったアンケート結果に共通する項目があることを指摘し、それは何か考える ③1·2時限で感じたことを感想としてまとめる	・アンケート結果（添3） （本校生とパプアニューギニアの生徒たちに行ったもの） ・感想記入シート
<生徒の感想>	・パプアニューギニアの子どもたちの笑顔が、日本の子どもたちに比べて生き生きしていると思った。 ・授業を受ける高校生の目が真剣でびっくりした。 ・治安が悪く危険な国という印象があったが、私たちと同じことを考えたり望んでいたりする人々だとわかり、身近に感じることができた。 ・豊かになるのは便利でいいことだが、大切なものが見えなくなるのかもしれないと感じた。 ・偏見や先入観で誤解していたりすることも多く、知ろうとしなければわからないことが世の中にはたくさんあるのだろうと感じた。 ・沢山の日本人がパプアニューギニアで働いているのでびっくりした。写真や動画で衝撃を受けることも多かったが、とてもいい勉強になった。 ・「平和」というキーワードは世界共通だと感じた。	
①3～8時限 ②「この村が日本で一番」 ③抽象的な概念を自分に引き寄せて考え。	①国語教科書の「この村が世界で一番」を読解 グローバル化する世界の中でいかに生きるか、筆者の問題提起を読み取る ②グローバル化の負の側面も読み取る	・教科書 ・映画「モダンタイムス」

①時限 ②テーマ ③ねらい	方法・内容	使用教材
	③「モダンタイムス」から、本文の"交換可能な"人間ということについての理解を深める。	
①9～10時限 ②自分たちが持っている開発途上国のイメージを確認する ③実際の村人の問題を考える素地を作る	①班分け ②開発途上国のイメージをブレインストーミング ③イメージをカテゴリーに分類する ④各班発表し、お互いのイメージを共有する	・模造紙 ・付箋 ・マジック
①11～14時限 ②開発途上国の問題点と解決策 ③実際の村人の声を知り、問題を自分に引き寄せて考える	①問題提示写真を配布 ②写真から、問題点を選択し、解決策を考える ③各班による発表	・マルマルコミュニティーの問題提示写真（添付4） ・クラスルールの写真 ・パプアニューギニアの地図 ・前時の各班発表模造紙 ・付箋・模造紙 ・マジック
<生徒の反応>	・開発途上国へのイメージは共通するものが多かった。 ・各班からさまざまな疑問点が活発に発せられた。 ・解決策を班別で考えていた際に、「何をやろうとしても教育が問題なんだ」という声があがった。「教育が一番大切だ」と異口同音に述べた。 ・パプアニューギニア女性の置かれた状況に疑問を感じていた。 ・お金があればなんでも解決できそうだが、それが本当に現地の人のためになるのか疑問だという声や、こちらの方法を押し付けるのはよくないといった解決策を考える上での戸惑いも見られた。	
①15～17時限 ②豊かさとは何か ③一国の問題を世界全体の問題としてとらえる 学習全体を振り返り、自分の問題としてとらえ直す	①「豊かさマップ」から通常の世界地図との違いを読む ②抜粋プリントを読む ③プリントを読み、質問を考える ④DVD「世界の貧しさのためにできること」を視聴する ⑤振り返りシートを書く	・「豊かさマップ」※1 ・プリント(『地球データマップ』からの抜粋) ・プリント（パプアニューギニアで働く人々の言葉） ・DVD※2 ・振り返りシート（添付5）
<生徒の反応>	・日本がなかなかみつからなかった。「えーっどこ?」の声が多数聞かれた。「ずいぶんメタボだ」との感想も。 ・富裕な北に比べて、南の貧困に衝撃をうけていた。 ・開発途上国の貧困が、先進国のもたらしたせいでもあることを知り、グローバル化が良い面ばかりでないことを真剣に受け止める様子があった。 ・「先進国」と「自分」とが結びつき、「責任」を意識し始めたようにだった。 ・振り返りシートの感想やメッセージを集中して書くことができた。 ・感想には、パプアニューギニアで活躍している日本の人々のように自分も誰かのために働きたいというものや、開発途上国のために自分ができることを探して実践していきたいというもの、本当の豊かさや本当に大切なものは何かということを考えたというものが多かった。	

〔3〕所感・補足・詳細説明

本研修参加者間の情報の共有によって多様なアプローチを試みることができ、感謝している。生徒も主体的に授業にかかわってくれ、助けられた。試験範囲に組み入れてほしいとの要望もあり期末試験も行った。授業実践の手法や生きた情報は、本研修のファシリテーター・同行者をはじめ、パプアニューギニアで出会った青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの方々、彼の地で活躍する多くの日本の方々からいただいた宝である。宝をしまい込まずに、是非活用させていきたい。

【パプアニューギニアを知る・パプアニューギニアの人々と私たち】 1～2時限

クイズに答えながら、パプアニューギニア紹介の写真や映像をみていくことで、パプアニューギニアへの理解を深めていった。（メリーブラウスやビルム（バック）は指導者が身につけ、シェルマネーや打楽器やパプアニューギニアで購入したものは回覧した。）

アンケートの結果の共通点には皆一様に驚き、パプアニューギニアの人々が日本や日本人に好意的なことを嬉しいとは思いながらも不思議にも感じたようだった。日本の戦争責任については生徒が見聞きしているだけでなく、その感覚が浸透しているものであるようだ。

マルマルコミュニティーの子どもたち

グッドシェパード高校の生徒たち

日本紹介の授業後の生徒たち

【9～14時限のグループワーク】の詳細

①班分け：バースデーラインにより班分け

無言でクラスに一本のバースデーラインをつくる（時間を計る）。

班名を「長老会」「婦人会」「子ども会」「青年団」「パプアニューギニア官僚」「先進国の人々」とした。その後のグループワークの内容も、班名に従って与えた。

②手順：1－開発途上国のイメージをブレインストーミング

・質より量でイメージをとにかく多くの言葉にする

・他の人の挙げたものに勘違いや間違いがあっても批判しない

2－イメージのカテゴリー分類

・「黒人」という単語も挙げられたが、かつての奴隷制や南北問題への示唆につなげることができた。

3－発表①

4－配布された写真（2枚ずつ）から書かれている英語の内容を把握

「先進国の人々」には各班の発表①のシートとパプアニューギニアの地図を渡した。

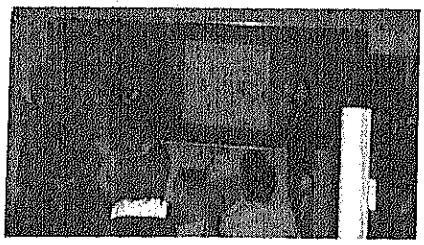
5－自分たちが問題と思うものを5つ選択し順位づけ

6－5つそれぞれに解決策を考える

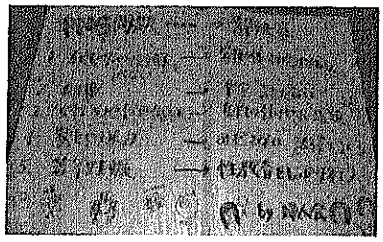
・指導者が各班ごとに適宜説明や解説を加えていった。

・なるべく恒久的な解決策を考えるように指示。

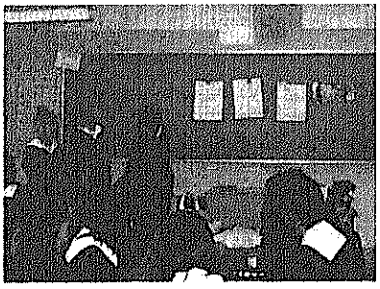
7－発表②



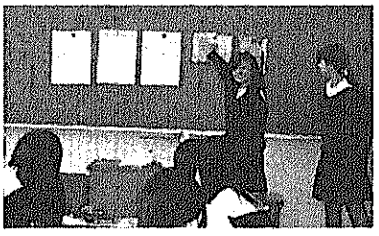
2年生の発表の様子



発表シート1



1年生の発表の様子



1年生の発表の様子

発表シート2

〔4〕成果と課題

生徒とともに開発途上国に対しての理解を深めていくことができた。生徒から、パプアニューギニア教師海外研修のテーマでもあった「エンパワーメント」に迫る感想もあり、コミュニケーションをとりながらのグループ学習は有意義であった。また、皮肉だが世界的金融危機のニュースも、世界の問題を身近なものとしてとらえるための一翼を担ったようで、現実感をもって教材に向き合うことができた。

生徒のメッセージシートはまとめて、パプアニューギニアの2校にそれぞれ送った。(添付2)

期せずして全校生徒に対して礼拝の時間にパプアニューギニアの紹介をする時間をもつ機会に恵まれたが、15分という短い時間に見せる映像を取捨選択するということは困難を極めた。「何を伝えたいか」という発信者側の意思が問われているものと思う。研鑽を積み方法も吟味して、実践をさらに積み重ねていきたいと思う。

〈生徒の感想〉

・私は今回の学習で、先生が体験してきたことやPNGの方々の様子を聞いて、テレビや新聞で見るよりももっと身近に「開発途上国の問題」を考えることができました。このような問題を耳にするたびに、自分がとても無力に思えます。豊かな生活をし十分に学べる環境だからこそ、私たちがもっと知識を身につけてリーダーシップをとり苦しんでいる国と手を取って助け合っていかなくてはいけないと思いました。本当の意味の「援助」とは現地の人たちが続けて行え、自立させることだと学ぶことができました。いくら高価な機械や工場を与えても、現地の人たちだけで使用したり修理できなければ意味がありません。いつも「何かしたいのだけれど」と思うだけで終わってしまっていましたが、このような学習をしてから「まず思いついたことをやってみよう」と思うようになりました。今では「エコキャップ活動」をしたり、みんなに活動のプレゼンをしたりするなど、自分のできることを一つ一つ行えるようになりました。豊かな国に生まれてきたからこそできること、しなくてはならないことが多くあると思います。これからも色々なことを学び行動に移していきたいです。

〔5〕参考文献（引用文献・参考資料）

・『NHK地球データマップ　世界の“今”から“未来”を考える』(「地球データマップ」制作班 編 NHK出版) 2008年2月25日出版
・『ブタとさつまいも―自然の中に生きるしくみ』梅崎昌裕著　小峰書店　2007年11月11日出版
・『はじめてのピジン語―パプアニューギニアのことば』岡本徹著　三修社　2005年4月出版
・『震える山』ロバート・クリッツマン著　榎本真理子訳　法政大学出版局　2003年11月10日出版
・『石斧と十字架―パプアニューギニア・インボング年代記』福田光喜著　彩流社2006年7月10日出版
・観光パンフレット「INBOUND SPECIAL PACKAGE TOUR」 PNG　Explorers International
・外務省　各国・地域情勢　太平洋州　パプアニューギニア http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/png/

・ＪＩＣＡボランティア　ワールドリポーター　http://worldreporter.jica.go.jp/blog/png/
・関口知宏の地球サポーター　http://www.tv-tokyo.co.jp/chikyu-s/0704_0803/
・やしの実大学　http://www.yashinomi.to/index.html
ユニセフ子ども物語　地球に生きる子供の暮らし　パプアニューギニア独立国
http://www.unicef.or.jp/kodomo/teacher/pdf/st/st_37.pdf
・東西南北　別冊２　和光大学総合文化研究所年報　アジアの教育―その変貌と未来
http://www.wako.ac.jp/souken/touzai_b02/tzb0205.html
・ＰＩＣ太平洋諸島センター　http://www.pic.or.jp/ country/png.htm
・パプアニューギニア政府観光局　http://pngtourism.jp/
・マックとマクドのグローカリズム　http://www.yorozubp.com/0008/000829.htm
・世界の国旗と国歌と豆知識世界 60 秒巡り http://hukumusume.com/366/world/pc/all/130.htm
・ＦＮＳチャリティキャンペーン 2007 年度支援国パプアニューギニア独立国
http://www.fujitv.co.jp/charity/report2007/index.html

〔6〕使用教材（授業で使用した教科書・教材・ワークシートなど）

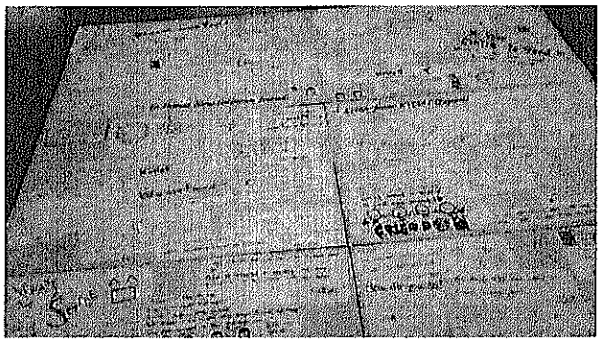
教科書：改訂版　高等学校　現代文（第一学習社）「この村が日本で一番」（内山節著）
プリント教材に使用：『NHK 地球データマップ　世界の“今”から“未来”を考える』
（「地球データマップ」制作班 編　NHK 出版）2008 年 2 月 25 日発行
視聴教材※２：地球データマップ　世界の貧しさのためにできること　NHK 教育 11 月 3 日放送分
映画「モダンタイムス」チャールズチャップリン監督　1936 年アメリカ映画
プリント教材として使用（豊かさマップ※ 1）：World mapper:Living on $100 to $200 の世界地図
copyright SASI Group（University of Sheffield）and Mark Newman（University of Michigan）

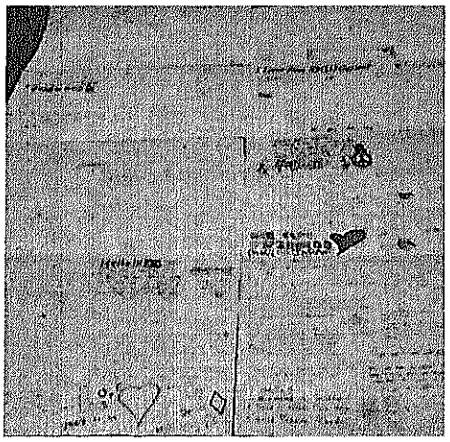
添付1 PNG クイズのワークシート

ＰＮＧクイズ

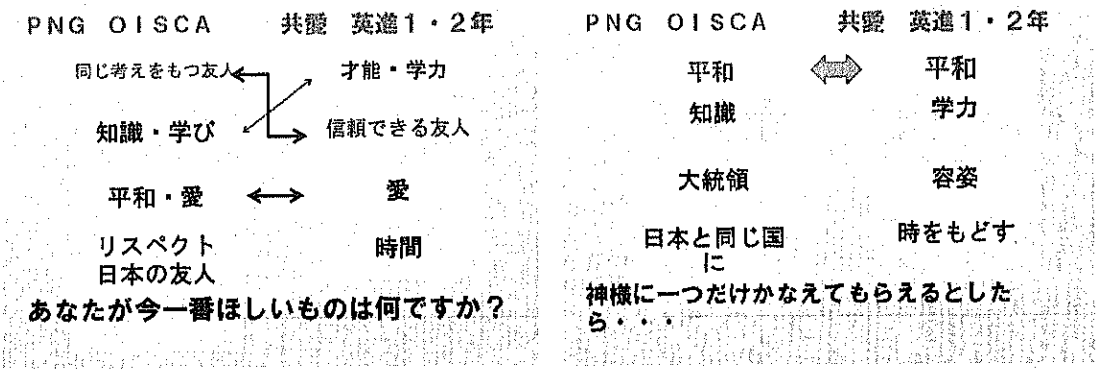
① 日本とＰＮＧはどちらが大きいか
　Ａ 日本　Ｂ ＰＮＧ　Ｃ 同じ
② ＰＮＧの人口は次のどれ？
　Ａ 600 万人　Ｂ 900 万人　Ｃ 1200 万人
③ ＰＮＧにはどのくらいの部族がいる？
　Ａ ８部族　Ｂ 80 部族　Ｃ 800 部族
④ ＰＮＧで自給自足の生活を送っているのは国民の何パーセント？
　Ａ 20%　Ｂ 40%　Ｃ 80%
⑤ ＰＮＧの電化率は？
　Ａ ５%　Ｂ 35%　Ｃ 75%
⑥ ＰＮＧの初等教育の入学年齢は？
　Ａ ６歳　Ｂ ７歳　Ｃ ８歳
⑦ ＰＮＧの平均寿命は？
　Ａ 54.6 歳　Ｂ 59.8 歳　Ｃ 72.8 歳
⑧ ＰＮＧと日本の時差は？
　Ａ １時間　Ｂ ２時間　Ｃ ５時間
⑨ ＰＮＧはどの国の植民地だった？
　Ａ ドイツ　Ｂ オランダ　Ｃ 英国
⑩ ＰＮＧにあると思うものに○をつけよう。
　Ａ 高層ビル　Ｂ マクドナルド　Ｃ スターバックス
　Ｄ 高速道路　Ｅ ５つ星ホテル　Ｆ ラスカル　Ｇ 携帯電話
　Ｈ 木材輸出　Ｉ コーヒー輸出　Ｊ 活火山　Ｋ ヤシの実
　Ｌ マラリア　Ｍ 教会　Ｎ シェルマネー　Ｏ 温泉

添付2　パプアニューギニアに送った共愛生のメッセージシート





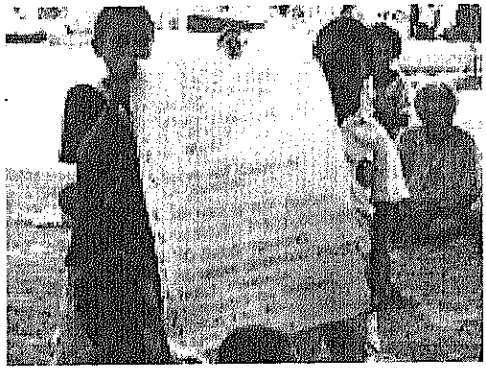
添付3 （アンケート結果）



注：PNG OISCA とはパプアニューギニアの NGO 団体で、高校生とほぼ同年齢の若者が所属している。

添付4 マルマルコミュニティーの問題提示写真の一部

女性の問題



学校の問題

添付5 PNG の授業振り返りシート

ＰＮＧの授業振り返りシート

（ ）組（ ）番 _____

・ＰＮＧ紹介の写真や映像から印象深かったことはなんですか？

・グループ学習をしてみてどんなことを感じましたか？

・開発途上国についてどんなことを感じましたか？

・「この村が日本で一番」でも学んできた「グローバル化」ということについてどう思いますか？

・ＰＮＧで活躍する日本人からのメッセージを読んでどんなことを思いましたか？

・「豊かさマップ」や「ティーンズＴＶ」を見てどんな感想をもちましたか？

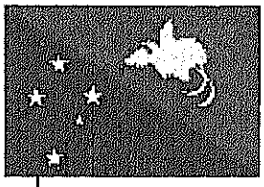
・ＰＮＧの問題や開発途上国の問題を考えてみてのあなたの感想を書いてください。

質問 （興味を持った人に質問してみよう）

（ ）さんへの質問

グッドシェパード校の高校生たちへのメッセージ（英語で）

バイクバク（アンバリーナ）校（小学生～中学生）の生徒たちへのメッセージ（英語で）



PNGから日本を考える

Papua New Guinea

高木 妙子
群馬県高崎市立佐野中学校

●担当教科：国語
●実践教科：学活・道徳・総合的な学習の時間
●時 間 数：5時間
●対象生徒：中学2年生
●対象人数：学年230名，学級39名

〔1〕授業実践のテーマ・目的

「豊かな国・ニッポン」に住んでいる私たちは，その豊かさや幸福について，普段の生活の中でなかなか気づくことができない。特に，多くの中学生にとっての「世界」は，自分の住む地域を中心とした狭い範囲であり，他国との関わりの中で自分の暮らしを考え直したり，自分たちの豊かさを実感として感じたりすることは難しい。

世界には日本とは全く異なる環境があり，その中でたくましく生きる人々がたくさんいると知ることは，「物の豊かさ」と「幸せ」について考えるきっかけとなるであろう。また，日本はその支援によって，尊敬され好意をもたれる国になっているということ，そして，発展途上国の人たちのために活躍している日本人がたくさんいるということを知ることで，働くことの意義や愛国心，日本のよさを再認識できると考えた。パプアニューギニア（PNG）を題材として，生徒たちの世界の国々に対する関心を高め，自分の知識を積極的に広げようとする態度を養うとともに，日本人としての在り方について考えさせることを目的として本実践を行った。

〔2〕授業の構成

<教科名：道徳・学活・総合的な学習の時間>

①時限 ②テーマ ③ねらい	方法・内容	使用教材
①1限目（学級・総合） ②世界の国々に目を向けてみよう ③先進国以外の国々に興味をもつ	○知っている国名を書き出し，気づいたことを発表する。 ○写真をもとに国名当てクイズを行う。グループで話し合い，どのような国か想像し，国名を当てる。 ○PNGの子供たちに聞いてみたいことを書き出す。	・PNGの写真 （〔5〕参考文献②ホームページ参照）
<児童・生徒の反応>	思っていた以上に生徒たちは国名を知っていた（最高46カ国）。しかし国名ごとに書いた人数を確認すると，先進国と発展途上国とでは歴然とした差があった。このことから，生徒たちは自分たちの目が先進国にいきがちであることに気づくことが出来た。 生徒から挙がった「PNGの子供たちに聞いてみたいこと」は，以下の通りである。自分の生活と照らし合わせたものが多かった。 《学校生活に関すること》 学校で何を勉強していますか。勉強は難しいですか。勉強は楽しいですか。学校は好きですか。学校は何時から何時までですか。 《生活に関すること》 生活の中で困ることや大変なことはありませんか。今の生活は楽しいですか。今の暮らしに満足していますか。主食は何ですか。一日何回食事をしていますか。一番好きな食べ物は何ですか。平和ですか。 治安が悪くて危なくないですか。怖くないですか。 《趣味や楽しみに関すること》 今，楽しいことは何ですか。今の国は楽しいですか。幸せですか。 生活の中で，幸せだと思えることは何ですか。夢がありますか。 友だちはたくさんいますか。友だちのことが好きですか。	

①時限 ②テーマ ③ねらい	方法・内容	使用教材
	どんなスポーツが好きですか。どんなことをするのが好きですか。 《国についての考えに関すること》 自分の国は楽園だと思いますか。なぜ楽園と呼ばれているのですか。 PNG から出たいと思ったことはありますか。 PNG の良いところやすてきな場所を教えてください。 日本や日本人に対してどのような印象をもっていますか。 アメリカをどう思いますか。日本やアメリカがうらやましいですか。	
①2限目（学級・学活） ②PNG で学ぶ子供たちの様子を知ろう ③日本の学校や学ぶことについて考える	○ PNG の小学生の写真から想像できることを話し合い，気づいたことを発表する。 ○高校生の様子から，気づいたことを発表する。 ○ PNG の学校の写真を見て，自分たち日本の学校の施設設備を考える。	・PNG で撮影した写真（添付1）
<児童・生徒の反応>	生徒たちは少年が靴を履いていないことに違和感を覚えたり，PNG の高校1年生の授業が中学2年生の自分たちと同じ内容であることに気づいたりと，細かな点にも目がいっていた。授業を受ける PNG の高校生の真剣なまなざしには衝撃を受けていた。 「あくまでも私たちが訪ねた学校」と前置きはしたが，PNG の学校と比べて，自分たちの教育環境が恵まれていることに生徒たちは改めて気づいた。	
①3限目（学年・総合） ②PNG を知ろう ③発展途上国の暮らしを知るとともに，「物の豊かさ＝幸せ」ではないということに気づく	○ PNG クイズを通して，PNG の暮らしを知る。 ○ PNG の人たちが自分の国に誇りをもっていることを知るとともに，PNG の人たちに日本が好かれる理由を考える。	・パワーポイント（〔3〕詳細説明参照，添付2）
<児童・生徒の反応>	クイズ形式で紹介することにより，集中力を維持したまま1時間があっという間に過ぎてしまった。髪にささったボールペンなどの写真はインパクトが強く，一部の生徒は誤った印象をもってしまったようだ。パプアニューギニアという，今まで全くなじみのなかった国に対する興味を喚起することができた。 物は豊富でなくても，自分の国に誇りをもつ PNG の子供たちの明るい笑顔に「幸せ」の意味を改めて考えた生徒が多数いた。 《生徒の感想》 ・「義務教育だから」と私たちは学校に通っているけれど，それが当たり前ではないと初めて知った。 ・写真を見ていると，決して裕福そうではないけれど，とても幸せそうだった。あんなに裕福ではなさそうな環境なのに，なぜあんなに幸せそうに笑えるのだろう。 ・日本を好きになってくれる国をたくさん作るために，もっと多くの支援ができればいいと思った。 ・日本人の「当たり前」はそんなに通じないのだと思った。こんなふうに，他の国のことをどんどん知りたいと思う。	
①4・5限目（学級・学活） ②PNG 支援プロジェクトを考えよう ③支援のあり方を考えることを通して，相手の立場になって物事を考えようとする態度を養う	○PNG支援プロジェクトを考える。 ○KJ法を知り，グループで話し合う。 ○実施上の問題点を知り，自分たちのプランを振り返る。 ○実際に行われている支援の概要を知る。 ○PNGで働いている青年海外協力隊員やシニア海外ボランティアの方々の様子を知る。	・学校で取り組んでいるユニセフ募金の資料 ・シェルマネー ・PNG で撮影した写真
<児童・生徒の反応>	生徒会で取り組んでいる募金活動と時期がちょうど合ったため，"自分たちが行っている募金の先にある発展途上国"として考えることができた。話し合いを通して，募金活動に積極的に協力しようという雰囲気が高まった。また，ただ単に物資を支援するだけでなく，支援される側が自立できるような支援が重要であるということに自然と気づけた生徒も多数いた。 青年海外協力隊員やシニア海外ボランティアの方々の活躍を知り，生徒たちは海外により強く感心をもったようだった。	

〔3〕詳細説明

●時　限：3限目，2学年全体（230名）対象，総合的な学習の時間

●場　所：体育館，パワーポイント・プロジェクター使用

流れ	説明	備考
導入	「発展途上国って知っていますか。」 「英語では Developing Country。経済発展・開発の水準が日本やアメリカなどの先進国に比べて低く，経済成長の途上にある国をさします。アジア，アフリカ，ラテンアメリカに多くあります。開発途上国とも言います。」 「この夏，群馬県・栃木県・新潟県の先生方と一緒に，その発展途上国の一つ，パプアニューギニア（PNG）に行ってきました。今日は，国際理解の一環で，みなさんに PNG の話をしたいと思います。日本以外の国に目を向けたり，外国の様子から自分たちの暮らしを見直したりするきっかけになればいいなと思います。」 「先週の木曜日午後7時から4チャンネルで放映された『世界ウルトラ巨大生物』という番組を見た人はいますか？見た人はイメージしやすいかもしれませんね。最初に簡単に写真をもとに紹介します。豊かな自然と青い海。ダイビングをする人にはとても人気があるそうです。」	
	「これは PNG の国旗です。赤は太陽の光を，黒は人々の象徴，黄色い鳥は平和のシンボル，極楽鳥。星は南十字星を表しています。あとでまた出てきますから，この国旗をよく覚えておいてください。」 「ここからは PNG について，クイズで紹介していきたいと思います。」	スライド1：国旗
第1問	最初は写真の問題です。これは PNG の高級ホテルで撮った写真ですが，ここに何かがとまっています。それは何でしょう。 　A極楽鳥　　Bインコ　　Cボールペン 「PNG の人々の髪の毛はふわふわの縮れ毛です。国名のパプアは縮れ毛を意味するそうです。ちなみにこの人はホテルのフロントで働く女性です。」	スライド2 スライド3：クイズ問1
第2問	PNG はどこにあるでしょう。 「日本の南，赤道直下。飛行機なら直行便で約6時間半です。修学旅行で行く京都まで，乗り継ぎ含めて新幹線で5時間くらいかかることを考えると結構近いですよね。では次に日本とのかかわりで考えてみましょう。」	
第3問	PNG は太平洋の秘境と言われます。さて，1年間にどれくらいの日本人が PNG を訪れるでしょうか。 　A約 200 人　　B約 3200 人　　C約 19200 人 「この人数，みなさんはどう思いますか。私は意外と多いと思いました。なぜなら自分自身，PNG は国名しか知らない国だったからです。どのような人が PNG を訪れるのかというと，まず，海がとても美しいのでダイビングをする人。そして，第二次世界大戦の戦没者の遺骨収集団や遺族の方々です。もちろん，個人的なかかわりで PNG が大好きになった人たちもいます。ちなみに第二次世界大戦では，約 16 万人の日本兵が PNG 付近で亡くなったそうです。」	・漫画家水木しげるさん ・「ジャワの極楽，ビルマの地獄，死んでも帰れぬニューギニア」
第4問	PNG には日本人がどれくらい住んでいるでしょう。 　A約 50 人　　B約 200 人　　C約 1300 人 「去年みなさんに数学を教えてくださったS先生は，今年の暮れから青年海外協力隊員としてインドネシアに行く予定です。PNG では，この国に住む日本人 200 人のうち，S先生と同じ青年海外協力隊の隊員は約 40 名もいるそうです。群馬県からは現在3名の隊員さんが派遣されています。」	
第5問	PNG から日本に，大量に輸出されている食品は。 　A米　　Bパイナップル　　Cマグロ 「マグロ好きな人は今夜から PNG に足を向けて寝られませんね。ちなみに PNG の主食はイモです。最近は米も人気がありますが，とても高価なため，気軽には食べられないようです。」	
第6問	次の宮崎アニメのうち，PNG と関わりのある作品は？ 　A崖の上のポニョ　　B風の谷のナウシカ　　C天空の城ラピュタ 「ラピュタに出てくる巨大な樹。そのモデルになった樹が PNG にあります。ポニョの舞台は広島県福山市の鞆の浦（とものうら）がモデル。風の谷のモデルはオーストラリアです。」	